

件名：玄海原子力発電所第3、4号機 緊急時対策棟設置工事(耐震関係・プラント関係)

説明事項リスト							備考欄※
No.	説明日	資料番号	説明項目	説明内容	反映すべき資料名 及び反映内容 (基本設計方針含む)		
1	2021/3/23	補足説明資料4-1	新固縛装置の耐環境性について	補足説明資料に新固縛装置の耐環境性を追記する。	補足説明資料4-1	②	
2	2021/3/23	補足説明資料4-5	緩衝装置に発生する瞬時最大荷重について	補足説明資料に緩衝装置に発生する瞬時最大荷重を追記する。	補足説明資料4-5	②	
3	2021/3/23	補足説明資料4-6	実証試験の詳細について	実証試験の詳細について補足説明資料に追記する。	補足説明資料4-6	②	
4	2021/3/23	補足説明資料4-1	新固縛装置の保守管理について	保守点検について補足説明資料に追記する。	補足説明資料4-1	②	
5	2021/3/23	添付資料12-3	地盤の振動特性について	・振動特性は速度構造のVs、Vpを説明するため記載していたが、耐震評価において、Vs、Vpは変形特性の設定に用いるものであるため、振動特性等の記載は、変形特性に統一する。	添付資料12-3	①	
6	2021/3/23	補足説明資料7-6	まさ土の施工方法について	補足説明資料7-6に、緊急時対策棟の埋戻しの際は、発電用原子炉施設施工時と同様の施工管理を実施する方針であることを追記する。	補足説明資料7-6	①	
7	2021/3/23	補足説明資料7-6	地盤の支持性能に係る基本方針の補足説明資料の記載の適正化について	補足説明資料7-6について、以下の適正化を実施する。 ・既工認を呼び込む理由について、設計の流れが分かるよう記載を適正化する。 ・試験結果の比較表について記載を適正化する。(ハノ久保砂礫層の記載がない理由の追記、nの凡例の追記、ボーリングと試掘孔の資料の使い分けの説明の修正)	補足説明資料7-6	①	

※①耐震関係、②プラント関係

件名：玄海原子力発電所第3、4号機 緊急時対策棟設置工事(耐震関係・プラント関係)

説明事項リスト							備考欄※
No.	説明日	資料番号	説明項目	説明内容	反映すべき資料名 及び反映内容 (基本設計方針含む)		
8	2021/3/23	—	1次元モデル作成方法について	入力地震動算定に用いる1次元応答解析用地盤モデルは、設置許可申請時に確認された緊急時対策棟設置位置のボーリング結果より得られた地盤の岩盤分類及び速度層区分に基づきモデル化を行う。なお、地震応答解析に使用する地盤物性値は、資料12-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に基づき設定する。1次元応答解析用地盤モデルの概要については添付資料12-16-11に示している。	—	①	
9	2021/3/23	添付資料12-16-1 第3-16図	添付図面の記載の修正について	第3-16図について、埋戻し土(まさ土)と記載を修正する。	添付資料12-16-1 第3-16図	①	
10	2021/3/23	—	基礎建屋とMMRの滑動について	建屋基礎とMMRの滑動の評価について、補足説明資料に追加する。	補足説明資料7-2-1 別紙2	①	

※①耐震関係、②プラント関係